

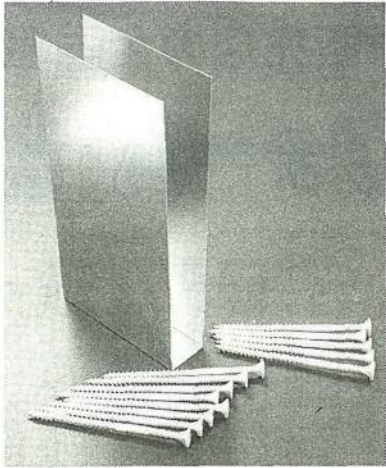
# シンプルな形状の優れたもの

## 24 kNの引き抜き耐力

ポラス暮し科学研究所

ポラス暮し科学研究所が開発した新接合システム「インクルーズ」が、トラスなどの接合で使用されることが増えている。0.6mm厚の極薄鉄板をコの字型に曲げたシンプルな形状で、最大引き抜き力24 kNとホールダウン金物(25 kN)にも匹敵する耐力を出すことができ、金物が表面にも出ない優れたものだ。

この金物は柱と横架一せてはめ込み、金物本体を木材ごと貫通してカットのほぞ穴に合わせ専用ビスで固定する。



新接合システムインクルーズ

金物の構造がシンプルで加工も簡単。現場には柱のほぞに取り付けられた形で搬入されるため、特別な施工、加工も必要ない。

一般的なホールダウン金物のように柱にボルトで金物を縫うような施工は行わず、木材内部にすっきりと納まる。商品は、横架材が直線となる部分に使用するタイプ(24 kN)、

コーナー部分に使用するインクルーズコーナー(15 kN)、横架材が十字に交わる部分に使うインクルーズクロス(24 kN)の3タイプがある。

り納まり、強度が出ることで使用するケースが増えているという。ポラテックのプレカットだけでなく、タナカでも一般に販売している。

もともとは柱・横架材の接合部に開発されたものだが、トラスの束材と上弦材、下弦材の接合部にもすっきりしている。

ポラテックでは「地味だが、使い勝手の良い金物として普及させていきたい」と話している。